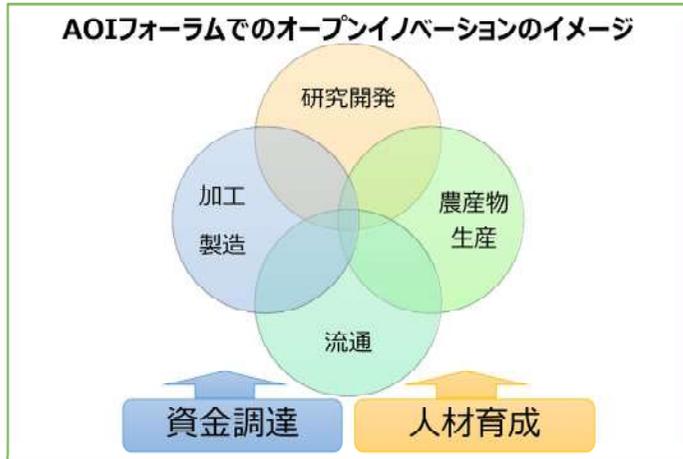


3 フードビジネスイノベーションに通じる地域産業振興の先進事例

〈AOIフォーラム活用のイメージ〉



- 成果例
- ①健康食品
生産、加工工程における効能の最適化
 - ②新品種
遺伝子情報の利用や、植物工場を用いた採種
 - ③フードチェーンシステム
食品ロスを最小化する流通の最適化、流通システムの標準化

地元農協をはじめ農業生産法人、種苗/資材メーカー、IT企業、流通・小売業等330以上が参加

〈想定しているマッチングイメージ〉



フォーラム会員には**担当コーディネーター**が配置され、会員の事業に必要な**パートナー事業者とのマッチング**を支援

〈AOIフォーラムを活用した事業化事例〉

ビジネス展開例

株式会社アイファーム

真実種からプロックリー農家に転換し、右も左も分からない業界未経験者だった。
商品ラインナップを増やして販売力を高めたい

AOIサポートで

大手コンビニエンスストアやファミリーレストランチェーンに供給するまでに成長

- ① AOI機構をハブとしたコンソーシアムを組んで研究、商品開発
- ② **機能性表示食品の届出**を行い、肝機能により成分の高い作物として付加価値化に成功
- ③ 消費者のニーズに合わせ袋ごとレンジで加熱調理できる**カットプロックリー**として販売
- ④ AOI-PARC内の研究の様子を取引先に案内して信頼度向上
- ⑤ 大手コンビニエンスストアやファミリーレストランチェーンに供給するまでに成長

〈AOI-PARCの成果発表会〉

AOI-PARCの新たな取組

令和4年度 **AOIプロジェクト 研究成果発表会**
～持続可能な「農」と「食」の未来～

日時 令和5年3月17日(金) 13:00～17:15
会場 農 ぶじのくに 手本館AOIフォーラム(ブラサヴェルダ)
講師 山下 恭幸 氏、HAL YAMASHITA オナー・チーフ・オブ・アフェイアーズ
<ライブ配信> Web会議ソフトによる中継を行います。
参加無料

＜プログラム＞ ①プログラムは手前から順次おこなわれます。
「外食産業から見る持続可能な社会と農業の未来」
講師 山下 恭幸 氏、HAL YAMASHITA
「持続可能な取組が価値に繋がる社会の構築」
山下 恭幸 氏、HAL YAMASHITA
和由 聖之 氏、理化学研究所
②自由発言 質疑応答 産総研 氏、産総研 氏
産総研 氏、理化学研究所 氏、理化学研究所 氏、理化学研究所 氏、理化学研究所 氏
AOI-PARC入居事業者(スタートアップ) 氏

イチゴの光合成機能を評価できる葉面積評価センサの開発

葉面積評価センサ
黒色アクリル板(7cm角)
透明アクリルパイプ(直径5cm、長さ5cm)

近赤外放射フォトダイオード
可視放射フォトダイオード

近赤外/可視(NIR/VR):大 → 葉面積:大

可視放射(VR) 近赤外放射(NIR)

葉面積評価センサ

特許取得

成果発表会ではAOI-PARKにある**次世代栽培実験装置**や**研究用のハウス**、あるいはフォーラム会員の**実証フィールド**等を活用した研究開発、製品化や実用化の事例を報告

出典：AOI機構 ホームページより

(2) 事例2 | TOYOHASHI AGRI MEETUP

名称	所在地	設立年	規模	概要
TOYOHASHI AGRI MEETUP (主催・豊橋市)	愛知県 豊橋市	R4年	<ul style="list-style-type: none"> 交流会参加人数：農家を中心に約100名/会 ビジネスコンテスト賞金総額：1,000万円 	<ul style="list-style-type: none"> 地域農業関係者向けマッチングプログラムと交流会を実施 全国のスタートアップ企業に向けて地域農業の課題解決に向けたビジネスコンテストを展開し、開発資金と実証フィールドを市側で提供

① 支援体制

- 豊橋市では「**未来の農をつくる**」と題し、**農業イノベーションの創出**を目指し、スタートアップと地元農業者・企業との共創による実証開発プロジェクトを推進
- 主催：豊橋市 産業部 地域イノベーション推進室
- 事務局：デロイトトーマツベンチャーサポート（株）、（一社）AgVenture Lab※

※農林中央金庫やJA全農からの出向者、OB等で構成されており、そのネットワークや知見を活かしたベンチャー支援を実施している

② 実施事業

- 地域の生産者が参加して、さまざまな**地域の営農上の課題**をワークショップにて整理したうえで、全国のスタートアップ企業の力を借りて解決するためのプラットフォーム
- ワークショップ（マッチングプログラム）では地域の課題を抽出・深掘しつつ農業者側とアグリテックが手を組んで成功事例を紹介し、**スタートアップとの協働開発に向けたマインドセット**を実施
- このマインドセットにより、場を提供する農業者側にもアグリテックとは何か、支援してほしいことは何か、を考えさせ、一方通行の事業ではなく、プラットフォームで**サービスを受ける側、与える側の双方の立場での理解醸成**が行われている
- 優秀提案に実証実験や開発にかかる資金として、**総額1,000万円**が付与されると、実証実験のフィールドとなる**市内農業者とのマッチング支援**が行われる



(2) 事例3 | DEEP VALLEY Agritech Award

名称	所在地	設立年	規模	概要
DEEP VALLEY Agritech Award (主催・深谷市)	埼玉県 深谷市	R1年	<ul style="list-style-type: none"> 応募数：約20件/年 ビジネスコンテスト賞金総額：1,000万円 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な農業課題を解決するために、アグリテック企業を集積させる戦略を市で策定 農業生産の課題解決及びフードバリューチェーン構築のための新たなビジネスモデルを募集するため、ビジネスコンテストを実施

① 支援体制

- 深谷市では、本コンテストを通じて、農と食の産業全体にある多様な企業がつながりあい、**アグリテック企業が集積するスマート農業の街**「アグリテック集積都市 DEEP VALLEY」の実現を目指している
- 主催：深谷市 産業振興部 産業ブランド推進室
- 事務局：(株) マイナビ

② 実施事業

- 人口減少や高齢化による農業課題の解決を目指し、アグリテックの集積に挑戦すべく**アグリテック集積戦略**を策定してビジネスコンテストを立ち上げ
- 市内にアグリテック企業が自発的に集積し、農業の活性化につなげるとともに**市内初の新たな技術**や**深谷ブランドの知名度向上**につなげることで、深谷から全国・世界へと展開できるような取り組みをビジョンとして掲げている
- ビジネスコンテストに参入することで、**協力農家の紹介**や**実証フィールドの提供**、新技術や取組みの**PR支援**などを実施している
- エントリー企業向けの**市内の産地視察ツアー**や**市内農業者向けロボット視察会**などを実施し、双方にフィードバックできる機会を提供



(2) 事例4 | (株)舞台ファーム

名称	所在地	設立年	規模	概要
株式会社舞台ファーム	宮城県 仙台市	H16年	<ul style="list-style-type: none"> 資本金：5,000万円 売上高：25.4億円 従業員数：102名 	<ul style="list-style-type: none"> 主に主食用米と国内最大級の植物工場でリーフレタスを生産する農業生産法人 製造大手で宮城県に拠点をもつアイリスオーヤマ株式会社と共同出資で会社を設立して精米工場を運営

① 事業体制

- 独自のミネラル肥料の開発やドローン、AI技術を活用しながら、**自社農場及び全国の提携農場**にて米の生産を実施
- 製造技術と全国への販路を持つアイリスオーヤマと、農業生産法人の舞台ファームの共同出資による「**舞台アグリイノベーション株式会社**」を設立し、精米能力10万トン/年、倉庫収納能力4.2万トン（4.2万パレット）の精米工場を建設、稼働

② 実施事業

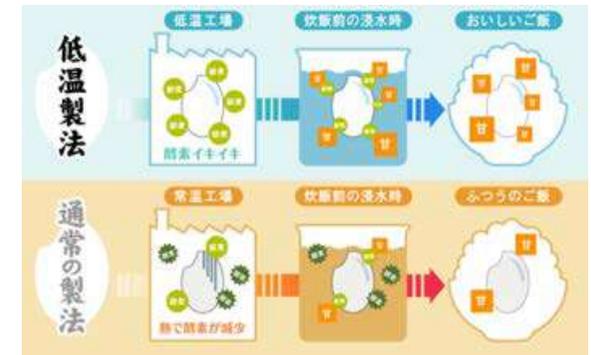
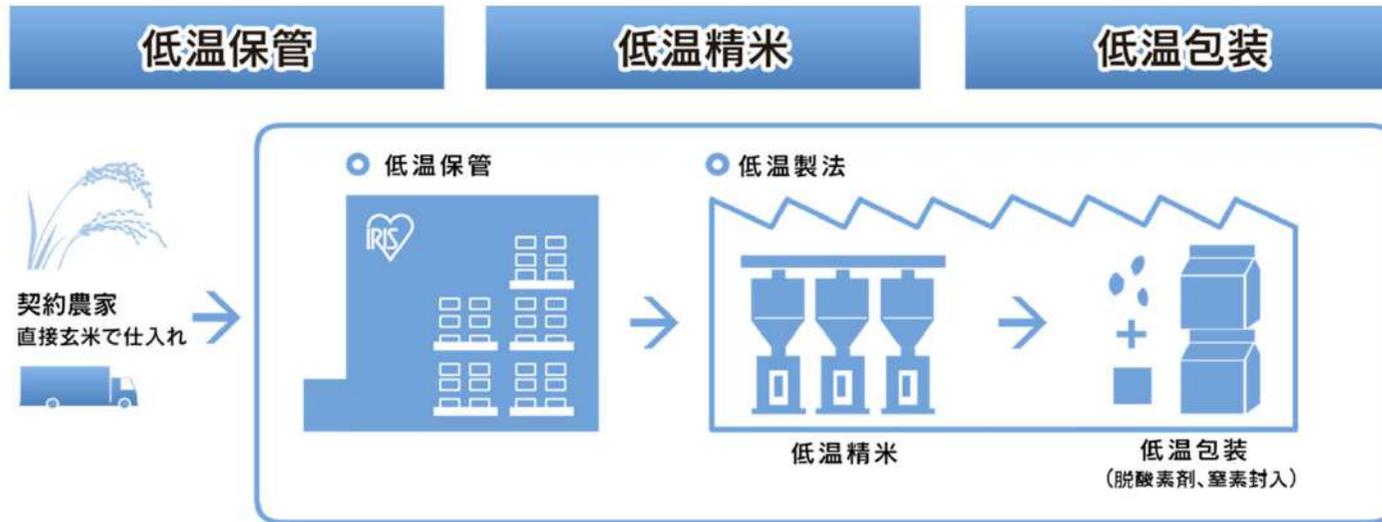
- 東日本大震災により農地や備蓄米などが被災した中、**農業の復興なくして東北の復興はない**というアイリスオーヤマ会長の想いから、事業化が実現
- 精米工場では、低温倉庫→低温精米機→低温パック工場と**トータルコールド製法**を確立しており、おいしくて高品質を維持できる商品を提供
- アイリスとの商品開発では時代を読み、**コメの小分け販売**や**パックライスの増産**等を行い、消費者の消費形態の変化に対応
- 全国の提携農場とは**全量買取制度**（契約栽培）を通して、安定した農業経営の支援と適正利潤を確保
- 米や野菜の生産だけでなくコンバイン等の**農機具シェアリングサービス**や全国の農業法人で唯一、株式会社セブン-イレブン・ジャパンのベンダーとして商品を企画提案し**カットサラダを納品**するなど、農業の多角化も実施



出典：舞台ファーム ホームページより

3 フードビジネスイノベーションに通じる地域産業振興の先進事例

〈トータルコールド製法の特徴〉



米の保管に最適といわれる**15℃以下の低温管理**のもとで、保管・精米・包装を工場内で完結
 パックご飯製造時は米と水のみで炊飯しており、保存料などの**添加物も一切使わない**ため、パックご飯独特のにおいもせず、炊き立てご飯と遜色ない品質・食味を実現

〈精米工場における保管システム〉



保管倉庫は、奥行き150メートル×幅60メートル×高さ30メートルの、**巨大な“魔法瓶”**のような施設で温度管理を徹底
 通常、米の保管時は何段も積み上げて保管することが多く、下の段の米には過剰な負荷がかかり品質が低下するが、**多段式**とすることで品質を保持

〈商品展開例〉



販路についてはアイリスオーヤマが培ってきた**全国の販売網**を活用し、スーパーやホームセンター等の安定した販路を構築

出典：アイリスオーヤマ ホームページより

(2) 事例5 | YAMAGATA DESIGN AGRI(株)

名称	所在地	設立年	規模	概要
YAMAGATA DESIGN AGRI 株式会社	山形県 鶴岡市	R1年	<ul style="list-style-type: none"> 資本金：500万円 売上高：1.2億円 従業員数：21名 	<ul style="list-style-type: none"> 山形県庄内地域における、有機農業の実践研究および販売、普及 全国農地を対象にした特別栽培および有機化の支援

① 事業体制

- 農業用ハウス51棟（約1.4ha）にてベビーリーフやオカヒジキ、ミニトマト等を**有機栽培**で生産
- 地域商社として、地域農家/JAと連携し、独自ブランド「**SHONAI ROOTS**」を立ち上げ、地域の農産物をブランド化して買取販売するだけでなく、有機栽培に必要な資材等も販売

② 実施事業

- 田んぼに浮かぶ木造ホテル「**スイデンテラス**」などを運営する街づくり会社YAMAGATA DESIGN株式会社が農業の課題を解決するために2019年に設立
- 世界的な**有機農産物の市場拡大を背景**に、化学肥料・農薬に依存しない、農業の実践と普及拡大を通じて、経済的にも環境的にも豊かな農業の実現を理念として標榜
- SHONAI ROOTSは、栽培期間中、化学肥料と農薬を使用せず、主な肥料分(窒素)を**地域の有機資源**でまかなうことを基本基準と設定
- 栽培に必要な資材提供(販売)や自社で開拓した複数の販路を活用して農作物の買取販売を行うことで、**慣行→特裁→有機への移行を支援**し、農業者の所得向上に貢献
- 鶴岡市から委託を受け、**鶴岡市立農業経営者育成学校**を運営しており、有機農業を中心に経営に必要なことを座学と実践を通じて学ぶ2年制の学校にて担い手育成にも貢献

